

## 【令和3年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市介護老人保健施設	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市片山町2丁目13番25号	設置年月日	平成4年6月10日

### 1 施設の概要

(1)設置目的	病状が安定期にある要介護者に対し施設サービス計画に基づき、看護、医学的管理下での介護及び機能訓練等の必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことにより、高齢者の自立を支援し、在宅復帰を目指すことを目的とする。		
(2)規模、開館日等	<b>【定員】</b> 介護保健施設サービス 100人 短期入所療養介護 空床利用 通所リハビリテーション 月～土曜日40人、日曜日20人 訪問リハビリテーション 定員なし	<b>【開館時間】</b> (1)介護保険施設サービス 年中無休 (2)短期入所療養介護 年中無休 (3)通所リハビリテーション 午前8時30分～午後5時30分。年末年始は除く。 (4)訪問リハビリテーション 平日午前9時～午後5時。年末年始は除く。	

### 2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	一般財団法人 吹田市介護老人保健施設事業団					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・介護保険施設サービス ・短期入所療養介護及び介護予防短期入所療養介護 ・通所リハビリテーション及び介護予防通所リハビリテーション ・訪問リハビリテーション及び介護予防訪問リハビリテーション					
(5)指定管理者の収支			令和2年度		令和3年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	介護報酬等 (円)	567,937,143	512,518,315	567,937,143	512,523,841
		自主事業 (円)	1,944,000	1,133,461	554,000	2,257,094
		その他 (円)	1,880,000	8,707,339	1,270,000	3,957,040
		合計 (円)	571,761,143	522,359,115	569,761,143	518,737,975
	支出	管理経費 (円)	556,871,670	539,980,829	557,146,397	544,692,465
		自主事業 (円)	0	0	0	0
その他 (円)		6,208,600	753,206	6,408,600	767,190	
合計 (円)		563,080,270	540,734,035	563,554,997	545,459,655	
収支差額 (円)		8,680,873	△ 18,374,920	6,206,146	△ 26,721,680	

### 3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和2年度		令和3年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ在在所者数(長期・短期) (人)	33,580	31,986	33,580	32,123
2	1日平均在在所者数 (人)	92	87.66	92	88.00
3	通所1日平均利用者数(月～土) (人)	32	22.4	32	20.1
4	通所1日平均利用者数(日) (人)	12	0.0	12	0.0
5	訪問リハビリテーション延べ利用者数 (人)	243	207	243	211
6	在宅復帰率 (%)	60	41.1	60	27.4

#### 4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	利用者アンケートの実施、意見箱の設置、利用者との日々の会話、送迎時等での家族への聞き取り、多職種の職員と利用者で行う定例会議で、ニーズを把握している。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 通所リハビリテーションの利用者アンケートでは、もう少し動きたい、運転が荒いと感じる、食事の味にばらつきがある等の声があった。
(3)結果を受けての対応状況	役職者会議で共有・検討し、可能な限り対応している。

#### 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	施設の利用にあたり、医師、看護師、介護職員、理学療法士、作業療法士、支援相談員等の多職種で協議することで、専門分野における見地から利用の可否を決定している。
(2)施設の効用の発揮	利用者個々の心身の状態に応じた施設サービス計画に基づき、在宅復帰を目標としたサービス提供を行っている。機能向上を図る場合に反復練習が必要なため、利用者の状況に応じてリハビリテーションの頻度を変更している。また、お風呂に入るといった日常動作でできる範囲の目標を掲げ、家庭環境に合わせたリハビリテーション(手すりを持つ、段差を上る)を行うことで、在宅復帰した際に支障なく生活できるように支援している。その結果、利用者アンケートでは身体機能の低下が予防されていると、効果を感じる声があった。 また、介護保険事業だけでなく、実習、認知症啓発の事業を実施しており、人材育成や高齢福祉の向上にも寄与している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	在宅復帰を実現するため、理学療法士、作業療法士を手厚く配置している。また、職員の能力向上として、排泄ケア、ケーススタディ、新型コロナウイルス感染症予防等の幅広い分野の研修を多数受講している。 財政面については、ペーパーレス化、一部の照明のLED化等の経費削減を実施しているが、施設内での新型コロナウイルス感染症発生に伴う休業による減収、光熱水費の高騰等の支出増加により、大幅な赤字となっている。
(4)施設の管理経費の縮減	データ管理によるペーパーレス化、一部の照明のLED化、3R等のエコを意識した物品購入を実施。
(5)その他	家族から「サービスが見えない」という声を受け、来庁等の際に写真を見せる、広報紙に写真を掲載する等で対応した。また、コロナ禍でも安心して面会してもらおうと、LINEビデオ電話を活用してオンライン面会を実施。家族のニーズにも答えながら、風通しのよいサービス提供が行えている。 また、地域連携・地域貢献事業にも注力しており、コロナ禍でも近隣の繋がりを絶やさまいと、コロナ禍に関する健康情報を発信する広報紙を発行し、近隣に配布していた。

(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。 家族面会や地域貢献事業のオンライン実施、研修の書面開催等、コロナ禍でも可能な限り事業に取り組もうという姿勢が伺えた。 財政面では、新型コロナウイルス感染症の拡大による減収、光熱水費の高騰等の支出増により大幅な赤字となっている。サービス提供に支障を来さないよう、健全な財政での運営に努められたい。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------